

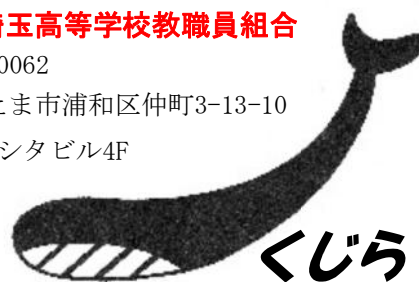


発行 埼玉高等学校教職員組合

〒330-0062

さいたま市浦和区仲町3-13-10

ヤギシタビル4F



くじら

NO. 660

教育復興に向けて支援の輪を広げよう！

TEL 048-823-4071

FAX 048-823-4072

Eメール saikojtu@maple.ocn.ne.jp

第1回くじら会議 4月29日(土)

～各学校の様子を報告して充実した交流～

与野本町コミュニティセンターで第1回くじら会議を開催した。コロナの影響が薄まってのご時世であっても部活動で忙しいという声も聞くが、活発な議論が繰り広げられた。

働き方改革は進んでいるのか？

県教委は2024年度末までに超過勤務45時間以内100%の目標をかかげている。現在、すでに2022年12月時点で高校86.2%、特別支援93.6%という数字が示されている。80時間超はもはや高校1.5%、特支0.2%である。

同じく文科省調査が発表となり、2022年度45時間以内は中学77.1%、小学校64.5%、80時間超は、中学36.6%、小学校14.2%と報道されている。どうして埼玉の数字は低いのか。数字の「マジック」のからくりを追及せねばならぬ。もちろん多忙は解消されてない。ゴールデンウィークにどれだけ若い教員が駆り出されているか！

分会報告で各校の実状を知る

分会報告を受けて活発な意見交換が行われた。報告にあがっているのはやはり多忙化の実状だ。

A校 4月当初から部活動、休みゼロ

B校 担任2年目、担任の仕事の比重・負担大
(本日も3分の1の担任が出勤していた)

4月は確かに忙しい時期だ。しかし部活動の課題は大きい。その理由として

C校 活発な部活動顧問が異動、顧問確保が困難で再任用の方が顧問に！

生徒の部活動の保障はしたいとしても、ゴールデンウィークに教員が休めない実状は変えないといけない。この時期に試合を組む今の仕組みを変えないと解決にはならない(埼玉高教組は取り組んでいきます)。その他、

D校 保護者クレーム対応に忙殺されている

E校 生徒対応が丁寧な学校が教員異動によって冷たい学校となった(?)

F校 メンタル生徒が増加しているのではないか

G校 登下校のスクールバスに関わって校長が過剰反応と思える不適切な保護者対応があった

H校 生徒用クロームブックが届かない

I校 自転車ヘルメット着用で生徒の態度が悪かったら赤切符、と地元警察から脅された

J校 4年振りに歓送迎会が実施される

など、多種多様な報告が寄せられた。特にICTに関わっては校内ネットワーク環境やタブレット活用など、使い勝手の悪さが指摘された(のは毎度のことか)。

いずれにしても学校の実状を知ることによって組合本部は課題改善につなげることができる。

埼玉高教組は組合員の繋がりを大事にします

この春、組合員の横のつながり強化、そして組合員を増やすために元組合員の安岡さんに4月からお手伝いをお願いしています。これからお菓子入りのポチ袋を持って各校に伺いますので、ぜひともちょっと一休み、ティータイムしましょう。ひとりで抱えず、くじらで課題を共有しましょう。

2023 憲法大集会

～あらたな戦前にさせない！～

5月3日、有明防災公園で上記集会が行われた。強めの風が吹いていたが、日差しは強く、風が心地よい涼しさを運んでくれていた。国際展示場駅から公園までの道に今年も多く多くの団体がビラやチラシを配っている。

会場には既に多くの人が詰めかけていた。ミニステージでは竹信三恵子氏(和光大学教授)や清水雅彦氏(日本体育大学教授・憲法学)らを迎えて、貧困や軍拡、関東大震災虐殺問題などを取り上げたトークイベントなどが11時から始まっていた。

時計が12時半をまわり、司会のあきおさん(フェミニスト・コメディアン)が開始を告げる。まずは、ヴォーカル、ベース、ドラム、トランペットという異色のバンド「ベアソンズ」が演奏。ラップ調の音楽に政治メッセージの詩をのせ、30分ほどの熱いステージ。

開会挨拶は実行委員会の高田健氏、相変わらずの元気な挨拶だ。スピーチは清水愛砂氏(室蘭工業大学教授・憲法学)、泉川友樹氏(沖縄大学地域研究所特別研究員)は署名を訴え、ビデオメッセージを寄せた漫画家の東村アキコ氏。「今までは政治

に無関心だったけれど、このままだと自由に漫画も書けなくなるような世の中になりそうなので、こうした形で参加した」といった趣旨の挨拶が印象に残った。

集会アピールやカンパの訴えに続き、立憲民主、共産、れいわ、社民各党の国会議員の挨拶が続く。

次はリレートーク。入管法問題については山岸素子氏(移住者と連帯する全国ネットワーク事務局長)から、馬毛島の軍事基地問題については前薮美子氏(米軍施設に反対する市民団体連絡会副会長)から、性差別問題については宮子あずさ氏(看護師、ライター)から、それぞれ問題の現状と今後の意気込みが熱く語られた。それぞれ現場で活動をしている人達だから、生の声と今起きている問題の最新状況がわかる貴重なトークであった。

後世、今を「戦前だった」と位置づけさせてはいけないと改めて考えた一日だった。

(H.R)



青空の下、2万人が終結！

くじら会議&映画上映

日時:6月10日(土) 1時～

場所:武蔵浦和コミュニティセンター第10集会室

映画『ここから』～「関西生コン事件」と私たち～

シングルマザーで幼い3人姉妹を抱えた松尾聖子。生コン運転手になって生活保護から抜け出ることが出来た。そして労働組合と出会い、労働者の尊厳と仲間との絆を手にしていく。そんな彼女を2018年、業界・警察・検察が一体となった空前の組合弾圧事件が襲う(チラシより)

第3回くじら採用試験対策講座 無料！

5/27(土) 1:30～5:00 ヤギシタビル4F 組合本部

埼玉高教組 TEL 048-823-4071 メール saikoitu@maple.ocn.ne.jp